

目次	
I 外来植物対策の考え方	1
①外来植物対策の基本的な考え方.....	2
(1) 外来種とは.....	2
(2) 生物多様性の保全と外来種対策.....	3
(3) 河川における外来植物対策の必要性.....	4
②順応的管理による外来植物対策の考え方.....	6
(1) 外来植物への対応方針.....	6
(2) 順応的な管理における重要な視点.....	6
(3) 順応的管理による外来植物対策の進め方.....	7
③対策を優先すべき主な外来植物10種.....	10
(1) 影響・被害(またはその恐れ)の大きい外来植物の検討.....	10
(2) 優先的に対策を実施すべき外来植物の抽出.....	11
④特定外来生物とは.....	16
(1) 防除の公示について.....	17
(2) 対策に係る手続きなどについて.....	18
II 順応的管理による外来植物対策	23
①現状の把握(日常的な監視).....	26
②対策対象の決定.....	30
(1) 影響・被害(またはその恐れ)の把握.....	31
(2) 対策の緊急性の検討.....	36
(3) 対象種・対象箇所の検討.....	40
③計画の作成.....	41
(1) 調査.....	41
(2) 目標の決定.....	44
(3) 対策方法の決定.....	50
(4) モニタリング計画の作成.....	54
④対策の実施.....	55
⑤モニタリング.....	56
⑥検証・評価.....	57
⑦情報の公開と共有.....	58
⑧市民の理解.....	59
⑨市民との協働.....	60

Ⅲ 対策を優先すべき主な外来植物10種の生態的特徴と対策手法	63
● ハリエンジュ(別名ニセアカシア)	64
● アレチウリ	80
● オオカワヂシャ	92
● オオキンケイギク	102
● オオハンゴンソウ	112
● ナルトサワギク	122
● セイタカアワダチソウ	130
● シナダレスズメガヤ	140
● ホテイアオイ	150
● ボタンウキクサ	158
Ⅳ 外来植物対策と地域連携	167
①体制づくり	168
(1) 多様な利害関係者の参画	168
(2) 地域の力を外来種対策に活かす	169
(3) 市民参加に際する留意点	171
②情報の共有	172
(1) 参加者の理解と賛同の取得	172
(2) 情報を共有する仕組みづくり	172
(3) 情報の公開などに係る配慮事項	173
③持続可能な取り組みに向けて	174
(1) 目標やモニタリング結果の定期的な公示	174
(2) 楽しみや知的好奇心の満足、メリットなど	174
(3) 連携の成熟度に応じた組織体制づくり	175
市民などと連携した外来植物対策事例	179
事例-1 鬼怒川におけるシナダレスズメガヤ対策	180
事例-2 天竜川流域におけるアレチウリ対策	184
事例-3 天竜川流域におけるハリエンジュ対策	188
事例-4 緑川流域におけるボタンウキクサ対策	191
資料編	195
用語解説	196